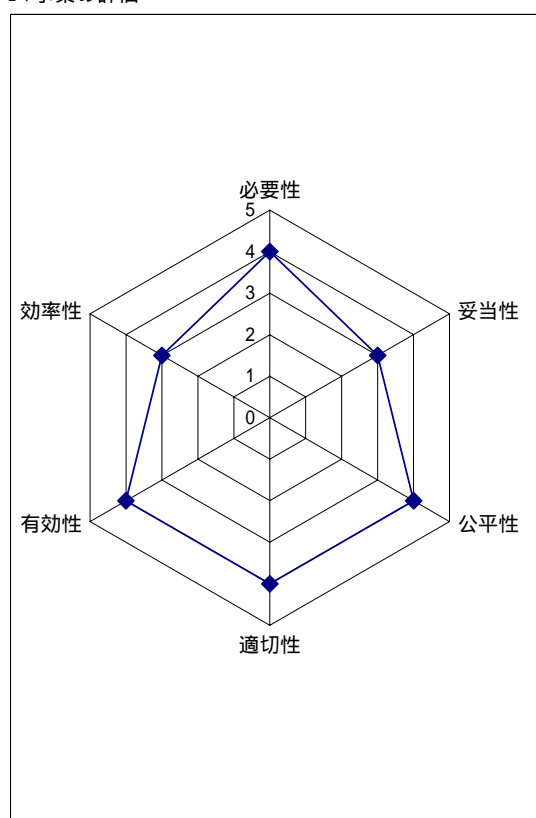


事務事業名	産地活性化プログラム推進事業補助金	担当部局	市長部局 産業経済部
基本目標	豊かな暮らしを育む活力ある産業づくり(産業)	担当課名	商工観光課
施策体系	豊かなふれあいとにぎわいのある商業・観光の振興	担当係名	商工係
施策	その他		

1. 事業内容

事業本来の目的と具体的内容	重要無形文化財の技術を活かした高付加価値かつ低価格商品を開発し、新たな購買層への市場開拓を図る。		
事業の期間(開始/終了)	平成16年 月 / 年 月		
根拠法令、条例、規則など	単年度補助金交付要項		
	結城市補助金交付規則		
事業が対象としている人(モノ)	結城紬新分野開拓研究会		
具体的な活動内容	産地活性化プログラム推進事業補助金交付要項を制定する		
	産地活性化プログラム推進事業補助金交付説明会を開催する		
	産地活性化プログラム推進事業の確認検査を実施する		
	産地活性化プログラム推進事業補助金を交付する		
事業の成果	結城紬の新たな用途開発		
	結城紬の新たな販売ルートの開発		

2. 事業の評価



項目	説明
必要性	4 依然、必要性が高い
	結城紬の生産反数や従事者の減少に直面している産地にとって、多様化する消費者ニーズに対応する付加価値の高い商品を見出そうとする試みは必要であると考えられる。
妥当性	3 どちらとも言えない
	新たな取り組みであるため軌道に乗るまでは、行政の関与は否めないと考える。
公平性	4 目的とした対象者に対しては、概ね広く便益を提供している
	全国的に見た場合、結城紬は本市の代名詞的に捕らえられており、観光集客及び伝統産業の保存という意味合いも考慮した場合、公平であると考えられる。
適切性	4 現在のやり方(手段)が一般的であり、特に問題はない
	国・県補助金と呼応しているため、適切であると考えられる。
有効性	4 概ね目標水準に達している
	時代の変化と共に、地場産業の新たな分野を開拓しようとする当該事業への補助は有効であると考えられる。
効率性	3 どちらとも言えない
	現在の新商品の予定価格は、まだまだ高額商品であることが今後の課題である。

総合評価	新商品のコスト低減化や、新たな商品開発が必要となっており、まだまだ問題点が多いが、平成17年度からはホームページを立ち上げ、新たな購買層の開拓を図った。
------	--

3. 今後の事業の方向性

所属長判断	事業の方向性判断	短期的方向	維持継続	中長期的方向	維持継続
	説明	着物としての結城紬だけでなく、着物にあった製品や着物以外でも身に付けられる新商品開発が進められ、着物愛好家だけでなく広範囲の消費者対象に販売されることから、結城紬の振興も図れるものと考えられる。補助金については3ヵ年補助と考えており本年度が最終年となるが、県の補助もあるため、その調整を行なう。			
決定権者判断	決定内容	維持継続			
	説明	新商品を開発し、コスト低減化を図ることにより、購買層の拡大に繋げる。			